

開催報告

## 東京第三ブロック親睦イベント 「せたがや落語会」

世田谷会幹事 村越 俊介

2019年12月1日(日)、東京第三ブロック(大田会、品川会、渋谷会、世田谷会、港会、目黒会)親睦イベント「せたがや落語会」が銀座アスター三軒茶屋賓館にて世田谷会の主催により開催されました。梅田泰宏世田谷会会長のご挨拶の後、新進気鋭の女流落語家である春風亭一花さんにご登壇いただき、「落語教室」と題し、手拭が本にもなり焼き芋にもなる、聞き手の想像力が大切であることなど楽しく語っていただきました。演目では、夜が明けるまで提灯持ちと一緒に妾と本妻のもとを行き来するが断られる「権助提灯」が披露されました。

その後、真打の桃月庵白酒師匠が登壇すると会場は更に盛り上がり、「落語を聞いた後に食事とは道楽者！」から始まり「佐々木政談」という奉行所遊びをする子どものお話が披露されました。大人の常識を覆すとんちの効いた返答を繰り返す子どもは憎たらしくも、大人たちから優しく見守られるというあたたかいお話でした。その後

休憩を挟み、再度一花さんの「子ほめ」、憎めないけれども世辞が言えない男のお話が披露されました。最後は白酒師匠の「親子酒」で、親子とも酒癖が悪く二人で禁酒を誓うお話です。白酒師匠の酔っ払い演技が素晴らしく、かつて日本に多くいた幼いころ見た酔っ払いの大人たちの姿が思い出され懐かしい思いがしました。泥酔しているところを息子に見られてはまずいと焦る親のもとへ泥酔した息子が現れるシーンは圧巻で落語というより舞台を見ているようでした。

白酒師匠は私どもの仕事はどんなに練習してもお客様からの鼻屑がないと成り立たない、また普通が良い、美人だったり、かっこ良すぎると嫉妬を招く、だから自分は太ったとおっしゃっていました。落語の後は一花さんの乾杯の音頭で食事会が始まり、次回も是非という声も多く聞かれました。一花さんも良いお客さんたちから力をいただきましたとおっしゃっていました。とても楽しいイベントとなりました。



春風亭一花さんの「落語教室」



白酒師匠と一花さんを囲んで



桃月庵白酒師匠の「親子酒」



一花さんの乾杯による懇親会